

本学では、建学精神である「自由と清新」および教学理念である「平和と民主主義」を踏まえて、総合大学としての利点を活かした開放型の教員養成を行ってきました。言語教育情報研究科では、こうした立命館大学の教員養成の理念を、大学院教学のなかで引き継ぎ、教員養成に必要とされる6つの力を身に付ける教育を継続しますが、とりわけ（1）高度な専門性（知識、見識、技能）の獲得、（2）生徒（学習者）の生活や学習における状況や学びの要求を把握、理解する力の獲得、（3）教師としての実践力の基礎となるコミュニケーション力（伝える力）の獲得を英語科教員養成の中で具体化しています。

言語教育情報研究科では、中学校及び高等学校教諭専修免許状（英語）の取得が可能な課程を設置していますが、その趣旨は、国際的な通用性を持った言語教育の専門家、また言語情報学と言語コミュニケーション学の専門的な知識と実践的な応用能力を身につけた高度専門職としての人材を養成するという研究科の目的にそった英語科教員の養成です。これを可能するために、第二言語習得論や英語教授法等最新の理論概論科目だけでなく、英語のコミュニケーション能力（運用能力）を養成する科目に加えて、コンピュータ支援学習（CALL）など情報機器を活用した英語教育方法のスキルを獲得する科目なども提供しています。統合的な英語コミュニケーション能力の獲得をめざす英語教育現場での対応能力を重視し、学校インターンシップ科目だけでなく、オーストラリアのサザーン・クイーンズランド大学と共同で開発・実施のTESOL資格取得プログラムも提供しています。